

武蔵野クリーンセンター 運営協議会だより

2011.3.31 NO.49

白煙防止装置を止める実験の
周辺住民アンケート結果報告
クリーンフェス「むさしのエコライフ」
環境啓発講座
活動報告

発行／武蔵野クリーンセンター運営協議会
武蔵野市緑町3-1-5
武蔵野クリーンセンター内
電話 0422-54-1221

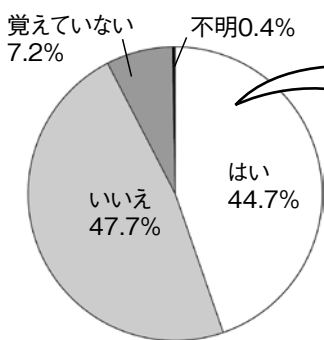
白煙防止装置を止める実験 煙突から出る白煙を 見ましたか？ 周辺住民アンケート報告



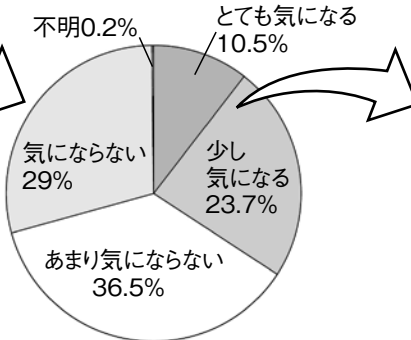
昨年12月2日から22日まで、武蔵野クリーンセンターで「白煙防止装置を止める実験」が行なわれました。実験後、周辺住民の意見を聞くために行なわれたアンケートの結果は、66.2%が新施設へこの装置を設置しないことに賛成でした。一方、主な反対理由は「環境への不安」ですが、白煙防止装置の有無は環境被害につながるものではありません。また、排ガスの調査も実施され、通常時と変わらないことが確認されました。

今後、武蔵野市は、白煙防止装置の設置について、周辺住民に対し、新クリーンセンターの基本計画や環境対策も含めて広報や説明会を行い、ていねいに説明していく予定です。アンケートの詳しい結果は、報告書やホームページなどでご確認ください。

煙突から出る白煙を見ましたか？



実際に見た印象は？

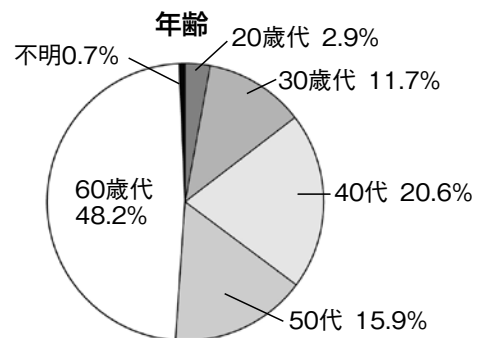
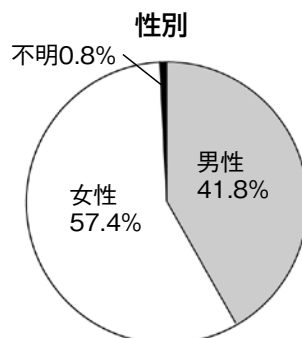
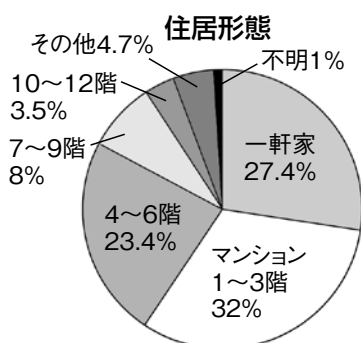


とても気になる、少し気になる
その理由は？ (複数回答)

- 60.4% 環境が不安
- 21.9% 悪臭がするようになった
- 17.2% ススなどが出るようになった
- 34.3% 景観によくない
- 21.9% その他
- 4.7% 不明

回答者について

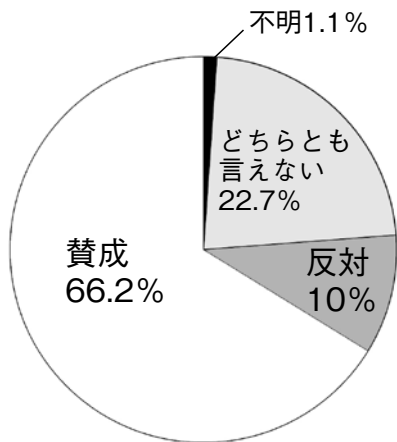
配布地域：吉祥寺北町4・5丁目、緑町1～3丁目の6188世帯
調査期間：12/13～1/14 回答数：1104 回収率：18%



白煙防止装置をつけないことについて、どう思いますか？

賛成66.2% 反対10%

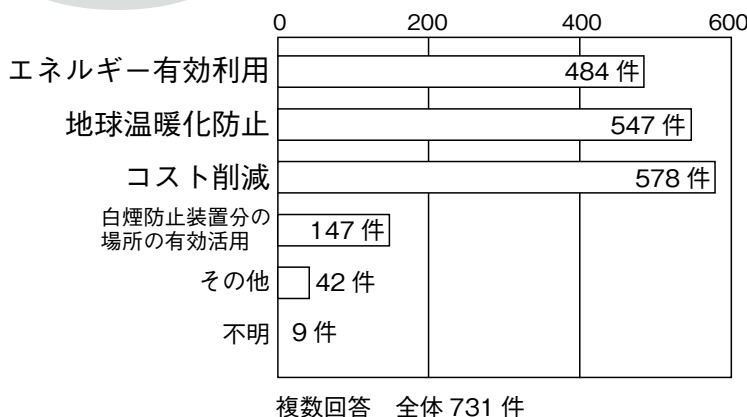
全ての地域で60%を超えました。



	賛成	反対	どちらとも言えない	無回答	丁目別集計
緑町1丁目	107件 (69.5%)	16件 (10.4%)	29件 (18.8%)	2件 (1.3%)	154件 (100%)
緑町2丁目	318件 (65.6%)	40件 (8.3%)	123件 (25.3%)	4件 (0.8%)	485件 (100%)
緑町3丁目	45件 (60.0%)	13件 (17.3%)	15件 (20.0%)	2件 (2.7%)	75件 (100%)
吉祥寺北町4丁目	183件 (68.3%)	25件 (9.3%)	59件 (22.0%)	1件 (0.4%)	268件 (100%)
吉祥寺北町5丁目	75件 (64.6%)	16件 (13.8%)	22件 (19.0%)	3件 (2.0%)	116件 (100%)
その他・不明	3件 (50.0%)	0件 (0%)	3件 (50.0%)	0件 (0%)	6件 (100%)
回答の合計	731件	110件	251件	12件	1104件
全体の中での割合	66.2%	10.0%	22.7%	1.1%	100%

賛成

エネルギーの有効利用、地球温暖化対策、コスト削減が多いです。



賛成の主な自由意見

- 印象はよくないが、理解する。
- 有害でないならよい。
- 実験して周辺住民の意見を聞く進め方がよい。
- 浮いたコストは環境や福祉に使って。
- 白煙より排ガス、有害物質の管理や情報公開を。
- 白煙は慣れれば大丈夫。気にならない。
- 白煙がごみの減量意識につながる。
- 白煙は水蒸気で無害とアピールすべき。
- 市外にもアピールすべき。

反対

環境被害が不安、景観によくないが多いです。



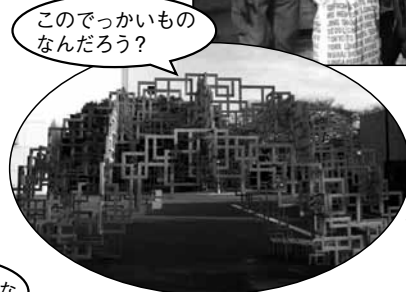
反対の主な自由意見

- 健康被害がないか心配。
- 景観やイメージが悪くなる。
- 地価や資産の低下が心配。
- コスト削減というが、たいした費用ではない。
- 建て替えではなく、リフォームでよい。
- 補助金目当てはやめるべきだ。

※アンケート結果や排ガスの分析結果などの報告書は、武蔵野クリーンセンター管理事務所などで配布しています。また、クリーンセンターのホームページでも閲覧、ダウンロードできます。

クリーンフェス「むさしのエコライフ」開催 ごみの減量と資源化を楽しく!

11月21日(日)、武蔵野クリーンセンターで「ごみの減量と資源化」をテーマに様々な催しが行なわれ、約200名が環境について楽しく体験しました。このイベントは、1人でも多くの市民に施設を見てもらい、ごみ減量や資源化について理解と協力を促す目的で、クリーンセンターにより行なわれました。ユニークな催しに初めて施設に来た人も多く、親子で楽しむ姿も見られました。



スタンプラリー
スタンプラリーをしながら楽しく工場見学。焼却炉の中をのぞいてびっくり!

◀ 正門に巨大な木枠のオブジェが出現! 武蔵野大学の学生のみなさんが作りました。



おもちゃのかえっこ
不要なおもちゃを持ってきて、ほしいおもちゃと交換します。最後まで子どもがいっぱい。



エコバッグ作り
自由に絵を描いたりメッセージをいれたり、自分だけのマイバッグ作りです。



Xchange(エクスチェンジ)
不要な服を持ち寄り、お気に入りの服と交換します。FMむさしののライブ中継もありました。

好評のクリーンセンター環境講座 気軽に参加できる 敷居の低い学びの場を

武蔵野クリーンセンターが平成22年3月から開始した、「クリーンセンター環境講座」について、担当の宮本さんにうかがいました。

クリーンセンター3階のオープンハウスを拠点として、1~2ヶ月に1回のペースで、市内で活動する様々な市民団体がそれぞれ持ち回りで、環境に関する講座を行っています。コンセプトは「楽しみながら気軽に参加できて、環境について学ぶことができる、敷居の低い講座」です。

平成23年1月までに9回の講座を開催し、のべ111名が参加しました。リピーターになる方も少しずつ増えてきて、皆さん楽しんで参加していただいているようです。

現在クリーンセンターの建て替え計画が進行中ですが、新施設では「エコプラザ(仮称)」を設置し、環境について学べる拠点とすることについて議論されています。どのような施設にするか、そしてどのような運営をするかについて、武蔵野市は、「クリーンセンター環境講座」での経験や人とのつながりを活かしていきたいということです。



みんなで作って食べて楽しい「エコクッキング講座」



「こんなに便利! ふろしき利用術講座」

他にも武蔵境にある里山の境山野緑地について、石けんの利用法、ごみ問題など、いろいろな講座があります。ぜひ、ご参加ください。

- 講座の詳細・お問い合わせは
- ・ 武蔵野クリーンセンター
電話0422-54-1221
- ・ 武蔵野市のホームページから
→クリーンセンター→環境啓発事業
→クリーンセンター環境講座

バス研修会の感想

日本最大級の展示で環境を楽しく学ぶ

緑町三丁目 狩野耕一郎

かねてから希望があった茨城県自然博物館とアサヒビール茨城工場を10月31日(日)総勢85名で見学しました。博物館の展示規模は日本最大級で、絶滅したマンモスの骨格標本のでかいこと！宇宙・地球・自然・生命の誕生のしくみなど、わかりやすく展示され、大人はもちろん、ちっちゃなお子さんまでも楽しめました。外にある“菅生沼”ではハクチョウを見た人もいます。

ビール工場では、製造過程で生ずる残渣^{ぞんさ}を家畜の飼料にするなど、地球温暖化の防止やCO2削減への様々な取り組みを学びました。

見学後には、できたての生ビールを賞味して“発泡酒との違い”を実感した楽しいバス研修でした。

驚き！アサヒビール工場の資源化

北町五丁目 中野一美

5階建てで相当の熟成タンク内のビール量を、一人1日1本の缶ビールを飲むとして、カラにするには約4千年かかるとか。それが何十基もあるのですから想像もつかない量ですよ。当日は工場は休みで製造ラインは稼働しておらず、瓶や缶に詰める工程は映像で見ましたが、3秒間で瓶ビール30本、缶ビール約85本、その製造の早さは驚きです。

また工場内には分別ステーションという何種類もの分別ゴミ箱があり、社員一人ひとりが分別を心がけ、工場内で発生する副産物や廃棄物はすべて有効利用されています。例えば麦芽の殻皮などの副産物は牛の餌のほかセラミックに、ペットボトルの廃棄物は社員の帽子やユニホームに、ビールを濾過^{ろか}して余った酵母はビール酵母として栄養食品になります。このような資源化100%の取り組みに感心しました。

最後にお楽しみ、地上60mの試飲会場で関東平野を眺めながら飲む生ビールは格別でした。そしてこれからは分別・リサイクルを行いつつ、ごみ減量を国全体でしなくてはと考えさせられました。



珍しい標本が展示された博物館



ずらり並んだビールの熟成タンク

楽しかったアサヒビール見学

都営武蔵野緑町二丁目第二アパート

松村芽玖(10歳)

朝8時にクリーンセンターを出発して、最初に着いた場所のお店で、おばあちゃんにシールとキレイな石を買ってもらいました。その後に昼食を食べに行きました。わたしは、お子さまうどんでした。とてもおいしかったです。しかし家族は物足りなかったそうです。でも、わたしはおながいっぱいになりました。

そしてアサヒビール工場に行きました。見学で女の人の説明を聞いて、初めて知ったこともありました。機械がたくさんあってビックリしました。

その後に、子どもはジュース、大人はビールを飲みました。飲み終わったら、お母さんがアサヒビールの絵が箱にかいてある“おっとと”を買いました。いつの間にか、もう夕がたになっていました。とても楽しかったです。また、今度行きたいです。

平成22年度 運営協議会活動報告

平成22年

- 4/23 第174回運営協議会会議開催
- 5/12 第175回運営協議会会議開催
- 5/16 25周年記念イベント エコフェスタ開催
- 6/21 臨時運営協議会会議開催
- 8/24 第176回運営協議会会議開催
- 9/30 「運営協議会だより」第48号発行
- 10/1 第177回運営協議会会議開催
- 10/31 バス研修会実施 参加：85名
(茨城県自然博物館・アサヒビール茨城工場)
- 12/2 第178回運営協議会会議開催
理事者との意見交換会
- 12/14 委員研修実施
(東京たま広域資源循環組合・湖南衛生組合)

平成23年

- 2/10 第179回運営協議会会議開催
- 2/25・28 3/2・4・7
環境健康診断実施 受診者：212名
- 3/14 臨時運営協議会会議開催
- 3/31 「運営協議会だより」第49号発行

●編集後記

白煙防止装置の停止実験についてのテレビ取材があり対応。放映後は九州へ転居した友人から「見たよ」のメールが届いたり、ご近所から「テレビ見ましたよ」の声をかけていただきました。マスコミの影響の大きさをあらためて実感しています。(石黒愛子)